

学園 ニュース

地域やグローバル社会で活躍できる 人材育成を目指して

学校法人菊武学園理事長 高木 弘恵



令和7年度の夏は例年になく猛暑

日が続きましたが、学生、生徒、園児の皆さんは、元気で頑張っていますか。保護者の皆様には、これまでと変わらぬご支援に心より感謝申し上げます。教職員の方々にも日々の愛情教育のご尽力に心より感謝申し上げます。

私は、去年のインドの教育の現状視察に続いて、今年は9月に台湾にある姉妹校の育達科技大學、育達高校、協定校の景文科技大学、及人高校との環境教育の推進と連携協議、及び台湾の教育の現状の視察をしてまいりました。台湾は教育熱心な国であり、多文化や中国語を最速に学ぶことができます。

台湾の学校教育システムは、高級中等学校（高等学校）から「普通教育」と「技術および職業教育」の2つに大別されます。台湾では4年制の学士課程を持つ大学が一般的ですが、その他に科学技術系や理工系、

IT系の専門教育を行う科技大学など多様な高等教育機関があります。日本の少子化が急速に進む中、台湾でも近年少子化が急速に進行しており、特に高等教育機関における学生数が減少しています。しかし、大学進学率は非常に高い水準にあり、不登校率は低い水準にあります。学校が社会的に重視されていて、オルタナティブ教育やギフテッド教育など特別な支援を含む多様な教育システムが充実していることも不登校率が低い要因の一つです。

また、キャリア教育にも熱心で「キャリアプランニングと生涯学習」

で求められている。間に合う人材づくりを教育目標に掲げ、将来の変化を予測することが困難な時代の中、新しい時代に必要となる資質・能力を育成することに力を入れています。生徒の心身の成長の糧となるよう、一年を通じて様々な取り組みを行い、高等専修学校と高等学校の卒業証書が同時に取得でき、在学中に実務に役立つ複数の資格が取得できる環境を整えています。

「職業教育」「愛情教育」の理念のもとで、生徒の自立心や自己抑制力、豊

が国民の「十大基本能力」の一つになっており、9年間の義務教育で一貫して教育する重点項目のひとつに位置付けられ、小学校から大学まで一貫して進路指導や職業意識の育成が行われています。小学校には専任輔導教師と呼ばれる先生がいて、キャリア教育を担当していることも特徴です。

9月後半には、愛知県の私学代表で、フィジー共和国の教育視察にも行ってまいりました。フィジーの空港に到着すると、生演奏で歓迎され、「BURA」と知らない人にもニコニコ挨拶を交わしてくれました。フィジーは「世界一幸せな国」と言われており、綺麗な海、自然豊かでのんびりしており、人も大変穏やかで明るく親切な方が多く、食べ物も美味し、物価も安く、治安も良く安全な環境で英語や異文化を学ぶことができます。子供から大人まで仲

学校法人菊武学園は、学校を取り巻く環境が大きく変化する中、多様な学習ニーズに対応するため、通信教育の質の確保・向上に向けた取組を行っています。

菊華高等学校では、義務教育段階で不登校経験を有する生徒が年々増加し、通信制高校に通う生徒の割合が高くなっていることから、不登校生徒に対する学習機会を確保するため、令和4年度より「通信制課程」を狭域通信制から3つ以上の都道府県から入学できる広域通信制に変更しました。単位制普通科では、自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて、土曜日のスクーリング（面

良くラグビーを楽しむ姿も印象的でした。

フィジーでは、高校受験の選択科目に木工、農業、製図、秘書学、会計、金工、経済などの科目があり、大学受験の選択科目には経済、商業、工学、タイピング、食物栄養、製図、会計、農業、木工、被服、コンピュータ、速記などの科目があります。フィジーでも初等中等教育の段階からキャリア教育が行われています。

菊武学園は、建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」に基づき、AIを大いに活用して地域社会やグローバル社会で活躍できる人材を育成するキャリア教育で地域社会に貢献していきます。少子化に負けず、在校生にも愛情を注ぎ続けます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

接指導）、レポート（添削指導）とテスト（単位認定）を受けることで卒業資格を取得することができま

また、名古屋産業大学では、社会人の学び直しやキャリア・アップなど多様な学びのニーズに対応するため、令和7年度に現代ビジネス学科に「通信教育課程」を開設しました。いつでも・どこでも・どのようにでも学ぶことができるよう、授業はすべてオンライン・オンデマンドで行い、通学不要な学び方で卒業資格を取得することができます。通信教育課程は、バーチャルキャンパスで充実した学びを提供しています。

豊橋宮野ビジネス高等専修学校が姉妹校に

学校法人菊武学園は、地域に根差した学校づくりや大学通信教育課程や高校通信制課程のサポート施設の展開などを図るため、学校法人宮野学園（愛知県豊橋市）と令和7年4月1日に法人合併し、学校名を豊橋宮野ビジネス高等専修学校に改称して、菊武学園の姉妹校になりました。

豊橋宮野ビジネス高等専修学校は、商業実務高等課程情報ビジネス科（3年制・男女共学70名）を設置し、豊かな心と実践的な技術を持ち、社会に貢献し得る有能な人材の育成と、社会



時代のニーズに応える通信教育の充実

学校法人菊武学園は、学校を取り巻く環境が大きく変化する中、多様な学習ニーズに対応するため、通信教育の質の確保・向上に向けた取組を行っています。

また、名古屋産業大学では、社会人の学び直しやキャリア・アップなど多様な学びのニーズに対応するため、令和7年度に現代ビジネス学科に「通信教育課程」を開設しました。いつでも・どこでも・どのようにでも学ぶことができるよう、授業はすべてオンライン・オンデマンドで行い、通学不要な学び方で卒業資格を取得することができます。通信教育課程は、バーチャルキャンパスで充実した学びを提供しています。

菊華高等学校

生徒主体で「限界突破」を実現 文化祭「Break the Limit」開催

菊華高等学校では「Break the Limit」は超元氣特区」をテーマに、9月26日、27日に文化祭を開催しました。初の2日間開催となり、クラス出し物や模擬店を両日実施し、保護者にも公開するなど、学校全体が一体となって盛り上がり



▲カラフルなジェット風船

ました。そして、本年度は個性豊かな文化祭をカラフルなジェット風船で表現し、全校生徒で一斉に青空へ飛ばす演出を行いました。

運営は生徒主体で行われ、各分掌が横断的に連携しながら企画・運営を支えました。ゴールデンウィーク明けから始動し、運営メンバーを中心に有志の生徒も加わり、土日や祝日にも協力して制作物を作り上げました。暑い中でも、来場者に喜んでもらうと汗を流し続



▲エンディングで挨拶する生徒会役員

け、有志メンバーによるダンスなども披露されました。その一人ひとりの想いと努力のすべてが、菊華高等学校の最幸の「華」として咲き誇った2日間となりました。

ダンス部 全国大会入選

ダンス部は今年の夏、作品『言葉を植えた人』で、神戸文化ホールで開催された「第37回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)」の創作コンクール部門(高校)において入選、愛知県芸術劇場大ホールで開催された「第17回NFC全国ハイスクールダンスコンペティション」において優勝という結果をいただきました。

本作品は、若松英輔氏の著書『言葉を植えた人』をもとに創作したもので、これまでの歩みの中で受け取ってきた



▲全国大会で演技披露

とほ、部員一同、大きな喜びであり、励みとなりました。

菊武ビジネス専門学校

語り継ぐ想いー釜石で学んだ夏

菊華高等学校と菊武ビジネス専門学校は、8月1日から8月4日までの4日間、岩手県釜石市、陸前高田市を訪れ、ボランティア活動を行いました。今年は活動の場所を岩手県釜石市へと変更し、津波で大きな被害を受けた旅館「宝来館」で、現地の岩手県立釜石高等学校の生徒有志と

合同で防災・復興活動グループ「夢団」と交流する活動から始まり、震災



▲ボランティア隊と震災語り部の方

伝承施設「いのちをつなぐ未来館」や石碑「津波記憶石」の見学、さらに海沿いの鶴住居小学校と釜石東中学校の跡地から震災当日の避難経路を歩きました。中学生が小学生の手を引き、津波から必死で坂を駆け上がり、高台に逃げたというお話を聞きながら歩く避難経路追体験は、当時を垣間見る貴重な体験となりました。また、現地の高校生は語り部としても活動しており、同じ高校生が語る震災体験に参加した

高大連携で 食品ロス削減に貢献

本校生徒7名が、名古屋産業大学現代ビジネス学部経営専門職学科の傍ら、現地の人々が抱く想いを受け取ることができました。素晴らしい経験を重ねることができた夏休みとなりました。



▶菊武夏まつりで販売

この商品は、第17回菊武夏まつりで販売され、大好評のうちに完売しました。食品ロスという課題解決に挑み、企画から販売までを実践的に学ぶ貴重な機会となりました。

豊橋宮野ビジネス高等専修学校

「2025学校祭」開催

豊橋宮野ビジネス高等専修学校では、第36回学校祭が10月25日、盛大に開催されました。朝早くから多くの保護者や卒業生が訪れ、校内は熱気に包まれています。メイン教室では、学年ごとに制作した動画の発表や、フェアミコン(スバルタンX)の決勝戦が行われ、会場全体が一体となって盛り上がる場面が多く見られました。その他、展示や

体験型の催しもバリエーション豊かで、射的コーナーやヨーヨー釣りでは笑顔があふれ、大人も子どもも目を輝かせていました。学校祭は、本校の教育活動の集大成ともいえる行事で、今回は生徒たちが自ら計画し、仲間と力を合わせて作り上げるこの尊さを改めて学ぶ機会となり、生徒たちにとって思い出に残る素晴らしい一日となりました。この経験を今後の学校生活にも生かしていくことを期待しています。



▶学校祭を楽しむ生徒

豊橋宮野ビジネス高等専修学校は、これまで以上に地域に根差した学校づくりに取り組んでまいります。皆様に今後の本校の教育活動に興味を持っていただければ幸いです。

「名古屋クリーンパートナー功労表彰」受賞

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院は、この度、名古屋市が実施する「クリーンパートナー」制度において、「大曾根・平安通をきれいにする会」の団体名で、「クリーンパートナー功労表彰」を受賞しました。功

労表彰は、長年にわたり地域の緑化や美化活動に

積極的に取り組み、まちの緑を守り育てることに大きく貢献された団体に、感謝状が贈られるものです。

これまで花壇の整備や植栽活動を積極的に、身近な環境をより豊かにする活動を続けてきました。今回の受賞は、こうした活動に日々真剣に取り組んできた学生達一人一人の頑張りと、区内の緑化や美化を目指して活動しながら継続して活動

オープンキャンパス
「フライタルDAY」

オープンキャンパスのフライタルDAYでは、華やかなフライタルショーが本校で開催されました。短時間で終わるヘアアレンジは、まるで魔法のような速さで行われ、高校

「校内エステサロン」オープン

トータルビューティ科2年生が、校内エステサロンを期間限定でオープンしました。授業で学んできた接客やエステ技術を実践し、一人一人のお

客様に合わせたベストな施術を提供しました。学生だけで実際にサロンを運営するという貴重な経験は、学生にとって学びの場となりました。



▶エステサロンオープン



▶フライタルDAYの舞台衣装



▶名古屋から感謝状

菊武幼稚園

親子で名フィルコンサート鑑賞

年長児の親子が、春日井市民会館で開催された「ファミリーコンサート」に参加しました。今回は、クラシック音楽を親子で楽しむ機会を提供することを目的に、春日井市私立幼稚園協議会が、名古屋フィルハーモニー交響楽団をお招きし、弦楽合奏による「ヨハン・シュトラウスⅡ「トリッチ・トラッチ・ポルカ」、管楽器による「パッヘルベル「カノン」、そして、「ドレミの歌」、チャイコフ

スキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より「情景」などの名曲が演奏されました。最後に子どもに人気の「夢の国メドレー」が披露され、とても有意義な時間となりました。



▲親子でファミリーコンサート鑑賞

稲葉保育園

「笑顔かがやく運動会」開催

今年度の運動会は、「笑顔かがやく運動会」をテーマに名古屋産業大学の体育館で行いました。各年齢ごとのリズム表現、体育器具を使つての競技、リレーを披露し、保護者の方々から大きな拍手と声援をいただきました。保護者競技では父兄の張り切る姿に子ども達は大盛り上がりでした。また、親子競技では親子でコアラ・ペンギん・さる・飛行機などに変身して楽し

みました。子ども達の笑顔と元気、そして成長を感じながら運動会を終えました。運動会までの取組の中で経験してきたことが子ども達のこれからの自信と糧となることを職員一同願っています。



▲笑顔かがやく運動会

学校法人菊武学園財務諸表

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

資金収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,005,481
手数料収入	30,730
寄付金収入	2,994
補助金収入	935,916
付随事業・収益事業収入	17,390
受取利息・配当金収入	12,447
雑収入	30,261
前受金収入	484,471
その他の収入	48,678
資金収入調整勘定	△ 583,372
前年度繰越支払資金	2,085,107
収入の部合計	5,070,103
人件費支出	1,727,731
教育研究経費支出	561,067
管理経費支出	235,771
借入金等利息支出	281
借入金等返済支出	50,000
施設関係支出	104,780
設備関係支出	62,433
資産運用支出	122,056
その他の支出	179,884
資金支出調整勘定	△ 64,600
翌年度繰越支払資金	2,090,699
支出の部合計	5,070,103

活動区分資金収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,005,481
手数料収入	30,730
寄付金収入	2,994
経常費等補助金収入	901,812
付随事業収入	17,390
雑収入	30,021
教育活動資金収入計	2,988,429
人件費支出	1,727,731
教育研究経費支出	561,067
管理経費支出	235,151
教育活動資金支出計	2,523,950
調整勘定等	△ 137,490
教育活動資金収支差額	326,988
施設整備等活動資金収入計	34,103
施設整備等活動資金支出計	287,213
調整勘定等	△ 9,442
施設整備等活動資金収支差額	△ 262,552
その他の活動資金収入計	15,555
その他の活動資金支出計	74,399
その他の活動資金収支差額	△ 58,844
支払資金の増減額	5,592
前年度繰越支払資金	2,085,107
翌年度繰越支払資金	2,090,699

事業活動収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金	2,005,481
手数料	30,830
寄付金	3,120
経常費等補助金	901,812
付随事業収入	17,390
雑収入	30,149
教育活動収入計	2,988,782
人件費	1,735,767
教育研究経費	810,165
管理経費	255,696
徴収不能額等	2,789
教育活動支出計	2,804,417
教育活動収支差額	184,365
教育活動外収入計	12,447
教育活動外支出計	281
教育活動外収支差額	12,166
経常収支差額	196,531
特別収入計	36,129
特別支出計	2,635
特別収支差額	33,494
基本金組入前当年度収支差額	230,025
基本金組入額合計	△ 89,309
当年度収支差額	140,716
前年度繰越収支差額	△ 4,707,559
翌年度繰越収支差額	△ 4,566,843

貸借対照表

科 目	金 額
固定資産	12,609,319
有形固定資産	10,119,752
特定資産	2,422,056
その他の固定資産	67,511
流動資産	2,329,302
現金預金	2,090,699
未収入金	64,753
その他	173,850
資産の部合計	14,938,621
固定負債	457,157
長期借入金	50,000
長期未払金	67,967
退職給付引当金	339,190
流動負債	738,745
短期借入金	50,000
未払金 ※1	41,214
その他	647,531
負債の部合計	1,195,902
純資産の部	
基本金	18,309,562
第1号基本金	18,068,562
第2号基本金	40,000
第4号基本金	201,000
繰越収支差額	△ 4,566,843
翌年度繰越収支差額	△ 4,566,843
純資産の部合計	13,742,719
負債及び純資産の部合計	14,938,621

※1の未払金には期末退職者退職金が17,404千円含まれています。

※減価償却額の累計額の合計額8,324,192千円

単位 千円

「彩祭」をテーマに大学祭開催

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の合同大学祭が、10月11日、12日に開催されました。今年のテーマは「彩祭（さいさい）」。その名にふさわしく、趣向を凝らした多彩なイベント、バリエーションに富んだ模擬店が学内に並び、多くの市民の方にも参加していただき、キャンパスは活気に包まれました。

メインステージでは、お笑いライブが開催され、人気芸人の「5GAP」「ガリットチュウ」「オレンジ田中」「ですよ。」らが会場を沸かせ、若者や親子連れでにぎわいました。さらに、ダンス部や軽音楽部などの情熱あふれるパフォーマンスも行われ、会場を大いに盛り上げてくれました。



▲阿波踊りを披露する鯉ほこ連



▲華やかにステージを彩る学生

ブラリーや、小学生ブラバンド、伝統芸能「棒の手」、鯉ほこ連（阿波踊り）の披露などの地域行事がイベントに華を添えました。キャンパス全体が笑顔

と活気に満ち、学生・教職員・地域の皆さまが一体となって楽しむ2日間となりました。模擬店や展示企画では、学生たちのアイデアとチームワークが光り、訪れた方々からも「学生の元気が伝わってきた」「また来年も来たい」といった声が寄せられました。

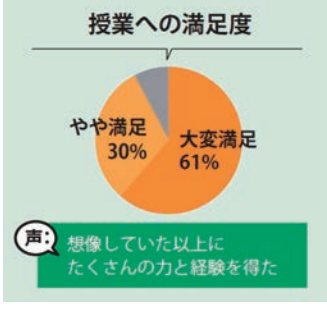
経営専門職学科初の卒業生の90%が「満足」

令和3年4月に開設された現代ビジネス学部経営専門職学科が完成年度を迎え、令和7年3月に初の卒業生を送り出しました。

経営専門職学科及びIR推進委員会が4年間の教育成果を検証するため、第1期生に「卒業時アンケート」及び「卒業後インタビュー調査」を実施したところ、授業や長期インターンシップに対する

満足度は90%以上と高く、学生一人ひとりが4年間の学びを通じて確かな成長を実感していることが明らかにになりました。「授業への満足度」「長期インターンシップの成果」「大学4年間での成長実感」などの調査項目の中で、特に3カ月長期インターンシップや少人数制の学び、実務家教員による実践的な授業が高く評価され、就職活動にも

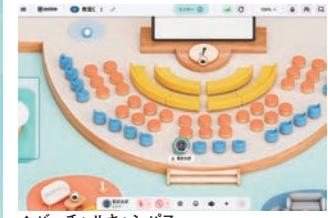
大きく役立ったとの声が寄せられました。卒業後、大学で培った力を活かし、介護事業所の経営者やコンサルタント業の取締役など、さまざまな分野で活躍しています。第1期生は、先輩たちに向けて、「先生たちは優しくて温かい」「挑戦する環境が整っている」「苦手は克服でき



通信教育課程がスタート

令和7年4月に、名古屋産業大学では初となる通信教育課程が開設されました。同課程は、既設の現代ビジネス学科に設置し、経済学、経営学の知識をベースに、社会の変化への対応力を身につけ、ビジネスにおける課題に対応できる人材を養成することを目的としています。講義はすべてオンライン・オンデマンドで遠隔授業として行い、学生は自分のライフスタ

イルに合わせて好きな時間に好きな場所で受講することができそうです。また、1年生にはゼミナールを通して個別指導を実施しています。さらに、通信教育課程専用バーチャルキャンパスも開設され、学生はアバターとして入室し、ゼミナールへの参加やディスカッションなどの多様なグループワークを展開しています。



▲バーチャルキャンパス

ゼロカーボンスクールの実現に向けて

CO2濃度測定関連機器贈る

名古屋産業大学は三菱UFJ銀行と協力し、尾張旭市の小中学校12校での環境学習に活用してもらうと、CO2濃度測定器やモバイルバッテリーなど24セット（1校2セット）を同市に寄贈しました。

尾張旭市は、第二次環境基本計画に基づき、市内の小中学校において環境教育・環境学習を推進しており、本学の環境経営研究所と連携して、国内初の「ゼロカーボンス



▲柴田市長に目録を贈呈

長が出席し、柴田浩市長に目録を手渡しました。この後、伊藤所長が測定器を使って植物の光合成実験を披露したほか、室内の換気対策のサポートにも活用できるなどの機能を説明しました。